



市民憲章

わたしたちは、生き生きとした
緑の中の岩見沢市民です。

岩見沢は、雄大な石狩平野にのぞみ、たくましい開拓の精神に生き、
伸びゆく産業、交通の中心のまち、かおり高い文化のまちとして、未
来に大きな夢と願いをもっています。

わたしたちは、このまちに住むことに誇りをもち、品性豊かな市民
となるため、ここをあわせて市民憲章をさだめます。

第1章 心とからだをきたえ、たのしく明るいまちにしましょう。

第2章 木や花を愛し、親切で住みよいまちにしましょう。

第3章 ひとに迷惑をかけず、進んできまりを守るまちにしましょう。

第4章 仕事に誇りをもち、力をあわせて豊かなまちにしましょう。

第5章 未来に夢をもち、知性と若さにあふれたまちにしましょう。

(昭和 43 年 5 月 5 日制定)

発行 / 岩見沢市 2026 年 6 月 編集 / 総務部秘書課広報室

地名の由来

アイヌ語の地名が多い北海道において、岩見沢は数少ない和名のまちです。明治 11 年に幌内煤田を開採のため、開拓使は札幌～幌内間の道路の開削に当たり、工事に従事する人たちのため、当市の北部、幾春別川の川辺に休泊所を設け、ここで浴（ゆあみ）して疲れを癒やしたといわれています。

当時の人々にとって、この地は唯一の憩いの場所として「浴澤」（ゆあみさわ）と称するようになり、これが転化して「岩見澤」（いわみざわ）と呼ばれるようになったといわれています。

市の木 こぶし



市の花 バラ



市の鳥 ハト

